

第1号議案

2021年度の主な事業報告

2021年度（2021年4月～2022年3月）の主な事業報告は以下のとおりです。

事業項目		主な事業	主な活動内容
1. 父母懇談会	支部	<ul style="list-style-type: none"> ・「父母懇談会」を35支部中、27支部で開催(7/3～8/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催支部 10支部 ・オンライン・会場参集併用開催 17支部 ・父母懇談会出席者 546名 ・リモート個別相談 学修 11/20, 11/27、キャリア形成 11/27, 12/4
	首都圏	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス(10/3) ・小金井キャンパス(10/10) ・多摩キャンパス(10/9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスの常任幹事が実行委員となり企画、当日は幹事とともに役割分担し、運営 ・コロナ禍の影響により、市ヶ谷はオンラインのみでの開催、小金井及び多摩はオンライン・会場参集併用のハイブリッド開催 ・各キャンパスの出席者数は市ヶ谷 727名、小金井 329名、多摩 502名 ・リモート個別相談 学修 11/20, 11/27、キャリア形成 11/27, 12/4
2. 後援会活動の活性化と適正化		<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議へ参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・支部長会議などを通じて、後援会活動のあり方などについて意見交換をした ・幹事会（常任幹事会）や支部長会議、各支部での会議、運営会議などを活用し、後援会活動の活性化と適正化に向け検討を重ねた ・HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) 活動に参加
3. 支部における諸活動		<ul style="list-style-type: none"> ・「新入生父母の集い」を16支部で開催(5/11～7/7) ・支部長会議への参加 ・会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに新入生父母の疑問や質問に答え不安解消に努めた ・支部新入生父母の集い出席者 243名 ・支部長会議(6/5 オンライン及び11/13 オンライン・会場参集併用) ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信
4. 学生・大学への助成		<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動手帳及びインターンシップ手帳作成、その他の助成を実施 ・広報活動など補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度ワクチン接種事業に係る大学への支援 ・自然災害などで被災した学生への学習特別支援 ・地方支部出身学生に特化した支援 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立 ・海外留学奨学金の助成 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援 ・後援会奨学基金経費負担助成 ・各キャンパス自主法政祭補助などの学生行事支援 ・広報誌「法政」の作成費用補助

事業項目	主な事業	主な活動内容
5. 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・ スポーツや文化活動の情報発信 ・ 「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況をタイムリーに配信 ・ 体育会スポーツ応援情報も掲載 ・ 各支部からの活動状況を配信 ・ 広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介 また、後援会ホームページにて配信 ・ 「会員のための大学ガイドブック」の改訂
6. 大学関係者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との各種懇談会の実施 ・ 校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・校友会との三者共同委員会参加 (6/16) ・ 常任参与との懇談会実施 (7/2) ・ 校友会との懇談会参加 (中止) ・ 副学長・学部長・学生センター長との懇談会実施 (11/9) (中止) ・ 総長・学内理事との懇談会実施 (11/25)
7. 学生(課外)活動などのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政支援、及び連携活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政支援、及び連携活動 (箱根駅伝応援準備など)
8. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西大学教育後援会との合同研修会を法政大学にて実施 (中止) ・ 「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会 (7/30)

第1号議案 参考資料

2021年度後援会関係行事

月 日	行 事
2021年 4月3日(土)	*『入学式』
4月10日(土)	*第10回運営会議
5月8日(土)	*2020年度期末監査【書面監査】
5月15日(土)	*第11回運営会議 *幹事会【会場・オンライン】 *新旧合同運営会議
5月22日(土)	*新役員予定者説明会【会場・オンライン】 *新役員キャンパス見学会 ※
6月5日(土)	*支部長会議【オンライン】 *総会【WEB表決】
6月12日(土)	*第1回運営会議 *第1回常任幹事会【オンライン】
6月19日(土)	*第2回運営会議 *支部総会・父母懇談会(WEB参加)説明会 *役員研修会【オンライン併用】 *感謝状贈呈式
7月1日(木)	*常任参与と運営委員懇談会
7月6日(火)	*東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会出場者壮行会【オンライン】
7月～8月	*父母懇談会(36支部)【会場招集・オンライン・併用】
9月4日(土)	*第3回運営会議【オンライン】 *第2回常任幹事会【オンライン】
9月18日(土)	*第4回運営会議【オンライン】 *支部総会・父母懇談会反省会 ※
9月25日(土)	*首都圏父母懇談会打合せ 市ヶ谷【オンライン】 多摩・小金井
10月2日(土)	*関西大学教育後援会森本靖一郎お別れの会
10月3日(日)	*首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)【オンライン】
10月9日(土)	*首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)【会場・オンライン】
10月10日(日)	*首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)【会場・オンライン】
10月23日(土)	*第5回運営会議 *第3回常任幹事会(首都圏父母懇談会反省会)
11月13日(土)	*支部長会議【会場・オンライン】 *副学長・学部長・学生センター長・後援会懇談会 ※
11月19日(金)～20日(土)	*『関西大学教育後援会・法政大学後援会合同研修会【幹事校・関西大学】』 ※
11月20日(土)	*オンライン学修個別相談
11月24日(水)	*総長・学内理事と後援会懇談会
11月27日(土)	*オンライン学修個別相談 *オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
12月4日(土)	*2021年度期中監査 *第6回運営会議 *オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
2022年 1月8日(土)	*第7回運営会議 *第4回常任幹事会 ※ *「オール法政賀詞交歓会」 ※
1月25日(火)	*北京オリンピック大学関係者壮行会 ※
1月27日(木)	*第43回観世寿夫記念法政大学能楽賞・第28回催花賞贈呈式
1月29日(土)	*公認会計士合格者祝賀会⇒【7月に延期】
1月30日(日)	*『2022年オール法政新年を祝う会(校友会)』【オンライン】
2月5日(土)	*第8回運営会議【オンライン】
3月5日(土)	*第9回運営会議 *第1回幹事会
3月23日(水)	*2021年度法政大学体育会表彰式
3月24日(木)	*『学位授与式』

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み中止となりました。

第2号議案

2021 年度

決算書 (案)

法政大学後援会

2021年度決算書(案)

2021年4月1日～2022年3月31日

経常費

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2021年度 決算額
1.一般収入	226,022,000
2.雑収入	584,863
3.積立金・引当資産からの繰入	23,220,000
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
6.未収入金収入	2,702,603
当年度収入合計(A)	252,529,466
前年度繰越金	170,119,030
収入合計(B)	422,648,496

【支出の部】

科目(款)	2021年度 決算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	16,220,000
2.学生支援費	85,771,996
3.会員情報費	29,511,344
4.会員行事費	18,363,544
5.役員活動費	5,131,343
6.企画運営費	6,571,044
7.人件費	10,879,522
8.学生支援積立金への繰入	48,000,000
9.後援会積立金への繰入	0
10.後援会引当資産への繰入	1,000,000
11.未払金支払	37,191
12.前払金	76,350
13.予備費	0
14.期末未払金	△ 55,795
15.前期末前払金支払	△ 5,436
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	221,501,103
当年度収支差額(A)-(C)	31,028,363
次年度繰越金(B)-(C)	201,147,393
支出合計(D)	422,648,496

監査書

法政大学後援会 2021 年度収支決算書を監査いたしました。
2022 年 3 月 31 日現在の経常費ならびに各種積立金の預金残高に相違ありません。

2022 年 5 月 7 日

監査 石橋 久美子



監査 魚躬 有理



第3号議案

2022年度の基本方針(案)

法政大学後援会は、これまで築いてきた74年という長い歴史があり、その本分や趣旨、諸活動などを踏襲するとともに、これらを守り続けていかなければならないことが数多くあります。しかし、大学を取り巻く環境や社会背景が時代とともに大きく変化するなか、後援会を支え合う私たちの生活スタイルや仕事、そして考え方なども以前とは様変わりしていることも事実です。

こうしたなか、後援会では「これからの80年、90年、そして100年を見据え、持続可能な組織にするためにはどうあるべきか。」ということが大きな課題となっています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症とも向き合いながら、これまでの活動内容の分析に立って、前向きな視点で将来の後援会活動のあり方に関する検討を行います。

2022年度事業計画の考え方(案)

法政大学後援会は、入学と同時に学部生の保護者が加入しており、1947年に設立された日本の大学では最も歴史と伝統がある組織です。

その活動目的は「大学の教育方針に則り、大学と学生、家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」ことにあります。

「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、学生と大学を支援する一番の応援団として、次の活動を積極的に行います。

1. 学生や大学への助成

課外活動・学生行事・各種講座、スーパーグローバル大学事業に対する支援、奨学・奨励金などの学生支援を行うとともに、図書・備品などの大学への助成・寄贈を行います。

2. 会員向け企画の充実

父母懇談会は保護者が教育環境や学生生活を知る機会として首都圏と各支部で、新入生父母の集いは新入生保護者の不安解消を目的として支部の任意性の下で、それぞれ行なわれております。

(新型コロナウイルス感染症等の状況により開催の中止も含めて再検討する場合があります)

今後も大学と連携協力することにより、一層の充実を図ります。また、首都圏ならびに全国の支部では、校友会との交流も積極的に行います。

3. 広報活動の推進

広報誌「法政」の制作費などの補助を行います。また、「会員のための大学ガイドブック」を作成するとともに、後援会ホームページを充実させ、各活動報告やスポーツ応援などの情報発信を行います。

以上

2022年度の主な事業計画(案)

2022年度（2022年4月～2023年3月）の主な事業計画は以下のとおりです

事業項目	主な事業	主な活動内容
1. 父母懇談会 (※1)	支 部	<ul style="list-style-type: none"> ・「支部総会」を35支部、「父母懇談会」を20支部、8ブロックで開催（7/2～8/28）
	首 都 圏	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス（10/2） 小金井キャンパス（10/9） 多摩キャンパス（10/15）
2. 後援会活動の活性化と適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議へ参加(※1) ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会、常任幹事会、父母懇談会、支部長会議、運営会議などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を行う。
3. 支部における諸活動（任意） (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集いの開催については、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、各支部に開催方法を一任する。 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新入生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるキャンパス見学会などの実施。
4. 学生・大学への助成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、自然災害などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターンシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「法政」の作成費用補助。
5. 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。 併せて、体育会スポーツ応援情報も掲載。 ・広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。

事業項目	主な事業	主な活動内容
6. 大学関係者との連携強化 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との各種懇談会の実施 ・ 校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会と「総長・学内理事」、「副学長・学部長・学生センター長」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・ 校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
7. H S C (HOSEI SPORTS COMMUNITY) ・ 学生支援 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や校友会、後援会クラブとのスポーツ支援に関する連携。 ・ HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政・活動支援。 ・ 東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝などの競技応援。 ・ 文化系活動の発表会などに関する情報発信について検討。
8. その他 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西大学教育後援会などとの交流および連携。 ・ 「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 2022年度は、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況により、活動内容や開催方法を都度判断する。

※2 各主団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

第4号議案

2022年度 予 算 書 (案)

2022年度予算の主なポイント

1. 大学が実施する新型コロナウイルス感染症禍に関わる事業等への助成金を予定し、20,000,000円を予算計上しました。大学からの経済支援要請文書を受け、後援会運営会議で審議後、当該予算を執行します。
2. 本年度より一部の支部、及び首都圏における父母懇談会の開催方法を新たな形式に移行するに伴い、父母懇談会の運営やオンライン配信に関わる業務を業者に委託する費用を計上しています。結果、会員行事費が前年比約10,000,000円を増額計上しています。
3. 大学からの要請にもとづき、多摩キャンパスマイクロバス購入費用8,500,000円を計上しています。

法政大学後援会

2022年度予算書

2022年4月1日から2023年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

科目 (款)	2022年度 予算額
1.一般収入	226,880,000
2.雑収入	792,000
3.積立金・引当資産からの繰入	46,000,000
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
当年度収入合計 (A)	273,672,000
前年度繰越金	201,147,000
収入合計 (B)	474,819,000

【支出の部】

科目 (款)	2022年度 予算額
1.自然災害等被災 (含む、コロナ困窮) 学生のための学生支援費	40,000,000
2.学生支援費	107,899,000
3.会員情報費	30,048,000
4.会員行事費	52,218,000
5.役員活動費	13,960,000
6.企画運営費	17,367,000
7.人件費	11,903,000
8.学生支援積立金	51,000,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	1,000,000
11.未払金支払	0
12.前払金	0
13.予備費	5,000,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計 (C)	330,395,000
当年度収支差額 (A) - (C)	△ 56,723,000
次年度繰越金 (B) - (C)	144,424,000
支出合計 (D)	474,819,000

第5号議案

2022年度 法政大学後援会役員候補者

【法政大学後援会会則抜粋】

第8条 第7条第1号から第6号までの役員については幹事会において役員の中から選出した選考委員をもって構成する選考委員会が次の各号により選出し、総会の議を経て決定する。

- (1)会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。
 (2)常任幹事は幹事より選出する。(3)幹事は会員より選出する。(4)監査は相談役・顧問経験者より選出する。

人数については 第7条に次のように規定している。

- (1)会長 1名 (2)副会長 4名以内 (3)総務 8名以内 (4)監査 2名 (5)常任幹事 全学年30名以内
 (6)幹事 各学年22名以内 (7)以下略。

1. 第8条1項3号 幹事は会員より選出する。

1年 幹事 22名

いざき みき 井崎 美妃	いしはら しゅうじ 石原 修二	いずみうら えみ 泉浦 絵美	おぎの けんじ 荻野 賢司	おさだ のぶはる 長田 信春	かまた ゆうこ 鎌田 祐子	かんの みほ 菅野 美穂	ぐんじ たかし 郡司 貴志
こうやま みさこ 幸山 美佐子	さいき やすこ 佐伯 康子	さいとう りか 齋藤 理香	さくらい としあき 櫻井 俊明	ささき ひでよ 佐々木 英世	しま こうし 志満 光史	しみず やすき 清水 泰樹	すなが さちよ 須永 幸代
はせがわ まゆみ 長谷川 万由美	ますだ まさひろ 増田 正博	もりかわ ひろし 森川 洋	やまがみ あきお 山上 晃央	やまかわ たかはる 山川 隆治	やまぐち えみ 山口 恵美		

2年 幹事 22名

あかつか まさこ 赤塚 真紀子	いしづか よしあき 石塚 好明	おおた ひかる 太田 ヒカル	おかじま たけし 岡島 健	かがわ けいぞう 香川 敬三	きだはし あすか 木田橋 あすか	くさがや せいいち 草ヶ谷 誠一	さかい えみこ 坂井 英美子
じとうえ まさみ 地頭江 正美	しづや みゆき 渋谷 美由紀	しもむら りえ 下村 利恵	たけひさ くみこ 竹久 久美子	とよだ としこ 豊田 稔子	なかにし よしひさ 中西 良尚	はやし ひろゆき 林 弘行	ふじさき たかひろ 藤崎 隆弘
ほんだ みき 本田 美輝	まさやま ゆみこ 昌山 友美子	まるつか くみ 丸塚 久美	もりやま かよこ 森山 加世子	やまざき まさひこ 山崎 雅彦	よしおか たけし 吉岡 健		

3年 幹事 22名

あらい けんいち 新井 健一	あらた えいさく 荒田 栄作	いしだ かつゆき 石田 勝行	いなき ゆかり 稲木 裕加里	いわた としかず 岩田 敏一	おじま じゅん 尾島 淳	かんの いちろう 菅野 一郎	きた のりくに 喜多 紀州
くわばら ひろたか 桑原 宏隆	こいずみちえ 小泉 千恵	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	ささばやし まゆみ 笹林 真弓	しみず まみこ 清水 真美子	しらとり たかし 白鳥 高	なかじまじゅんこ 中島 順子
はぎわら じゅんこ 萩原 順子	ませ よりひこ 間瀬 頼彦	よねもと あさえ 米元 麻枝	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎	わたなべちえ 渡邊 千恵	さかもと たかし 坂本 隆		

4年 幹事 21名

あさみ さとる 浅見 佐亨	いしはら やすひろ 石原 康弘	いちのせ えみこ 市瀬 恵美子	いのうえ ひろし 井上 宏	いわさ おおひで 岩佐 大秀	えびはら のりこ 蛭原 典子	くじらおか みつお 鯨岡 光男	こなか みちこ 小中 道子
しまむら たかこ 島村 孝子	すぎやま みさわ 杉山 美佐和	そえだ かずえ 添田 一恵	たきざわ かおり 滝沢 かおり	たまひ ひろこ 玉井 裕子	なかま るりこ 仲間 ルリ子	なかむら しょうこ 中村 章子	はせがわ ゆみこ 長谷川 裕美子
はたじま くみこ 畑島 久美子	ほそい けいいち 細井 圭一	ませき くみこ 柵木 久美子	まつお なおこ 松尾 奈穂子	まつざき こうじ 松崎 浩司			

2. 第8条1項2号 常任幹事は幹事より選出する。

常任幹事 30名

常任幹事(2年) 8名

じとうえ まさみ 地頭江 正美	しづや みゆき 渋谷 美由紀	しもむら りえ 下村 利恵	とよだ としこ 豊田 稔子	ほんだ みき 本田 美輝	まさやま ゆみこ 昌山 友美子	まるつか くみ 丸塚 久美	やまざき まさひこ 山崎 雅彦
--------------------	-------------------	------------------	------------------	-----------------	--------------------	------------------	--------------------

常任幹事(3年) 11名

あらた えいさく 荒田 栄作	きた のりくに 喜多 紀州	こいずみちえ 小泉 千恵	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	しらとり たかし 白鳥 高	なかじまじゅんこ 中島 順子	はぎわらじゅんこ 萩原 順子
ませ よりひこ 間瀬 頼彦	わたなべちえ 渡邊 千恵	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎					

常任幹事(4年) 11名

あさみ さとる 浅見 佐亨	いちのせ えみこ 市瀬 恵美子	いしはら やすひろ 石原 康弘	いのうえ ひろし 井上 宏	くじらおか みつお 鯨岡 光男	しまむら たかこ 島村 孝子	そえだ かずえ 添田 一恵	たきざわ かおり 滝沢 かおり
はせがわ ゆみこ 長谷川 裕美子	ほそい けいいち 細井 圭一	まつざき こうじ 松崎 浩司					

3. 第8条1項4号 監査は相談役・顧問経験者より選出する。

監査 2名

ひろしま えいいち 廣島 映一	よしかわ のぶひろ 吉川 信宏
--------------------	--------------------

4. 第8条1項1号 会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。

会 長	くじらおか みつお 鯨岡 光男						
副会長	あさみ さとる 浅見 佐亨	いちのせ えみこ 市瀬 恵美子	たきざわ かおり 滝沢 かおり	まつざき こうじ 松崎 浩司			
総 務	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	しらとり たかし 白鳥 高	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎	わたなべちえ 渡邊 千恵		
	じとうえ まさみ 地頭江 正美	とよだ としこ 豊田 稔子					

以上12名